



2012年度 社団法人 札幌青年会議所
第12回 理事会

日時：2012年12月19日（水）

18:30～20:30

場所：札幌パークホテル パールルーム

議 事 録

1. 開会

2. JCI クリード唱和

小林理事

3. JCI ミッション唱和

熱田理事

4. JC 宣言並びに綱領唱和

田邊理事

5. 出席者の確認

今西委員長

理事長 〃林将告

直前理事長 〃北嶋仁

副理事長 〃竹原慎雅・千葉直哉・川口淳

専務理事 〃佐藤光展

監事 〃小澤輝真・田中良弘

特別理事 〃池崎潤

常任理事 〃海野祐爾・中村悌也・村太健郎

理事 〃伊澤祐輔・熱田直樹・齊藤大輔・荒木康充・大越誠之・小田切英樹・小林万記
渡部裕史・田邊慎太郎

欠席者 〃田崎秀明

6. 議事ならびに資料の確認

今西委員長

7. 議事録署名人並びに作成者の氏名

林理事長

議事録署名人 大越誠之・渡部裕史

議事録作成者 総務委員会

8. 理事長挨拶

林理事長

皆様こんばんは。本日は年度内の最後の理事会になるかと思います。第13回は1月という事で、大きな議案については本日の理事会をもって、理事の皆様へ承認をいただくわけでございます。私の任務もいよいよ残り10日と少しくなりました。このような形で皆様の前で正式にお話させていただくのも最後となりますので、まずは皆様に本年一年間のお礼を少しばかりお話をさせていただきたいと思います。この理事会も数えること本日で予定者会議を含めると15回目となります。私の拙いキャリアの中でも、本年の理事会におきましては、国際アカデミーを含める様々な議案、そして様々な運動で侃々諤々の議論を皆様にはいただきました。時には0時を回る

事もありました。そして、臨時の理事会も3度開催させていただきました。この本年一年間の札幌青年会議所の運動、そして運営にご協力を賜りまして、心より、心より皆様には感謝申し上げます。全てに於いて私の気持ちと致しましては、感謝の気持ちしかない2012年度ではありますが、一つだけ今日はお話させていただきたいと思います。本年我々札幌青年会議所は国際アカデミーという大きな事業を主管させていただきました。そして、これは例年の事ではありますが、日本青年会議所にも、池崎委員長という素晴らしい委員長を輩出させていただきました。そして、ここにいらっしゃいます北嶋直前理事長が、日本青年会議所の常任理事並びに北海道地区協議会の会長として、ご活躍をいただきました。歴史を紐解いてみますと、この日本国内にある青年会議所運動に常任理事と委員長、そしてこんなにも多くの出向をした年はなかったのではないかと考えております。その様々な運動の中で、私も本年一年、皆様にお支えいただいたわけですが、多くの事を感じさせていただきました。この札幌青年会議所という組織がございしますが、私も外に中々外に出る機会がなかったものですから気づきませんでした。「組織が素晴らしいのではなく、この組織に属するメンバーが素晴らしいのだ」と、よく先輩諸兄から伺っておりました。しかし、実感として私自身が味わえない中、本年は本当に肌で、そして心でその言葉の意味というのを感じさせていただきました。日本全国、そして世界のJCIの仲間と共に運動する中で、札幌青年会議所、JCI札幌という言葉を経験する様々な場所で耳にしました。事あるごとに札幌青年会議所のメンバーが、個々人が素晴らしい活動をしている、そしてその集合体が札幌青年会議所であると、その様なお話をこの十二月に至るまで、日々私はお聞かせをいただきました。本当にこの素晴らしい組織に属させていただきました。本年この立場をさせていただいた事を皆様に、ただただ感謝の気持ちでいっぱいでありたいと思います。皆様に何をお伝えさせていただけるのかと私なりに一年間考えさせていただきましたけれども、なんとか2013年度のチームにこの高い志のメンバーの下、バトンをつなげられる、それが私の大きな誇りでありたいと思います。我々が学んでいる事、そして我々が先輩諸兄から61年に渡り、このつながれた札幌JCIプライドは、全国にも世界にも通用するものであります。これを是非メンバーの皆様には自信を持っていただきたと、本当に本年はそう思いました。我々はどうある為に運動をするのか、それにどのようなそれに伴った行動をするのかという事は、全てこのLOMの中で、学べるはずで、そしてそれをこの組織は教えてくれます。自らの意識を、そして高い目線を持っていただいて来年以降もその志は絶やさないで欲しいと思います。実は私、国際アカデミーが終わった頃でありますけれども、北嶋直前理事長とお話する機会の中で、こんなお話をさせていただきました。高い役職という意味ではなく、厳しい状況が一年にある中で、最終的に胸に秘めるものはなんであるのかと。もちろん、我々が求める目的や心であったりするわけですが、やはり最後に残るものは札幌青年会議所という、この組織に属する覚悟と責任であると。私も同じ思いでした。この組織に属して、そしてこのネームプレートを付けて我々は運動する限り、皆様には来年以降もその覚悟と責任を是非とも忘れないでいただきたと、思います。全ての根底にあるのは、私はその心なのかと、思っております。私は弁も特段たつわけではございませんし、皆様よりも高い志が特にあるわけではございません。ただ、私の中では皆様にお伝えをしたい。今年一年で私が肌で感じた事をお伝えしたい。そんな思いで本日はお話をさせていただきました。これから第12回理事会のご審議をいただくわけではありますが、最後に一つだけ皆様にこの場でお話をさせていただくのがいいのかわかりませんが、お話をさせていただきたいと、思います。本年一年間私は、非常に素晴ら

しい経験をさせていただきました。全て皆様によってさせていただいたと思っておりますけれども。横にいらっしゃる、2011年度北嶋理事長にご指名をいただいて、15回の理事会を経ました。2011年度北嶋理事長に心から、心からお礼を申し上げさせていただきまして、第12回の理事会のご挨拶とさせていただきます。まだ議案はございますけれども、けじめとして、言わせていただきたいと思います。本年も一年間皆様のおかげを持ちまして、私は夢のような一年を過ごさせていただきました。心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

9. 直前理事長挨拶

北嶋直前理事長

皆様こんばんは。非常に理事長から過分なお言葉をいただきまして、ありがとうございます。本当にいよいよ、2012年度最後の理事会という事です。まだまだ審議案件残っております。是非最後まで、皆様の担いを全うすべく、この理事会を進めて行きたいと思っております。まず、OB予定者を送るタベの話からさせていただきます。担当していただいた委員会の皆様、本当にありがとうございました。私も幾度となく例会でOB予定を送ってきました。いよいよ自分が送られる側に立つのかと、非常に複雑というか、当然現役であって又、直前理事長という立場の中ではありますけれども、片一方お客様の様な、多少客観的な立場で過ごさせていただきました。それで客観的に見ながら、改めてこの例会は本当に素晴らしい例会だと思いまいした。青年会議所では三大例会の一つと言われますが。本当に素晴らしい例会だと改めて感じさせていただきました。本当に最後の伊澤理事の素晴らしいスピーチがありました。本当に後ろで聞きながら、いよいよ私も卒業だと、多少感慨深く聞かせていただいた矢先に、「稲造さん」の話があり、この話は一体誰の為に何の為にあるのかと複雑な思いで聞いておりました。お陰様を持ちまして、72年組の卒業同期会組の名前はどうか「稲造会」に決まったらしく、色々な意味で思い深い最後の例会であったと思っております。本当に関わっていただいた皆様には感謝を申し上げたいと思っております。さて、出向者としてのお話をさせていただきたいと思っております。先ほど理事長からお話ありました通り、本年出向させていただいた中で、まずは北海道地区協議会のお話をさせていただきたいと思っております。北海道地区協議会としては、お陰様で今月の一日に最終の会員会議所を開催させていただきました。無事に終わる事ができました。実はこの会員会議所で一つ大きな案件がありました。多分皆様知らない方が多いのではないのでしょうか。北海道地区内の今後のエリアの在り方についての案件であります。本年会長基本方針というものを書かせていただいて、それを基に運動をしてきたのですが、機会があれば読んでいただきたいと思います。最後に残っていたのが、エリアの在り方についてです。この部分も会長所信に記載しておりまして、どうにかクリアしたかった問題です。どの様にしたかったといえますと、流れからいうと2006年に組織進化がありまして、それまで四つのブロックで協議会があったわけですが、四つ協議会があって運動発信しても、結局北海道は一つですし、まして今後の道州制を考える中で、この四つのブロックを一つのブロックにしようと2006年になりました。今までのブロック協議会はエリアという名前に変えて、また新しいスタートを切ったわけです。ただこのエリアというのは実際曖昧な組織でした。何が曖昧かと言いますと、そもそもこのエリアというのはメンバー対象です。北海道ブロック協議会は予算がありません。どうしていたかと言いますと、エリアで独自でお金を収集しておりました。あるエリアでは登録料で集め、あるエリアでは受益者負担で集めておりました。ましてや金額がバラバラ。地区の簿内には入ってこないという状況です。極論から言い

ますと、ＪＣ旗も掲げられない、領収証はエリア委員長の訳のわからないものでした。そもそも、何かあった時の責任の所在がはっきりしない。非常にガバナンスのきいていない組織でした。これはなんとかしなくてはいけないと思っておりました。基本的には２０１４年と期日を決めて、そして簿内に入れ、北海道地区協議会で管理する。侃々諤々議論してきたのですが、中々難しい問題でありました。一つ目に難しかったのは公益性の担保の部分。もう一つは地域独自の独自性がありましたので、わざわざこの難しい方に舵を切らなくてもいいのではないかとどうしてもその統一金額は難しい等、色々な意見がありました。しかしなんとしてもこれは、五年後十年後このままいけるのかと言った時に、誰がどこかで決断しなくては思い、自分の時に方向性は決めたいと思っておりました。５月に第一回北海道ＪＣフォーラムをしました。当然ながら北海道地区協議会として、又新たな存在意義、大きな運動発信になったという事もありましたが、その一方裏の目的はやはり公益性の担保をしたかった事です。北海道ＪＣフォーラムが終わって、公益性の担保が出来た時点でこのエリアの在り方の議論を開始しました。その中でなんとか２０１２年に４エリア¥３，０００という一つの案として２０１３年度に引き継ぎました。登録料、もしくは付加金。受益者負担はやめるという案です。今回の最後の会員会議所で理事長の皆様に、簿内の部分は地区協議会で管理するという事と、２０１４年から開始しますと期日を決めたというご審議をいただきました。期日とビジョンさえ審議が通れば、後は動きだします。２０１３年度からは¥３，０００という案で引き継ぎましたが、この部分はもう少し議論する必要があると思います。当然ながら地区役員会で審議になります。今までは報告だけでした。エリア会議はスケージュールリングの日程的な部分を今後煮詰めて行かなければならないと思います。その部分は私も２０１３年度直前会長という役職をいただいておりますので、２０１４年度から施行したいと思っております。その様な重大な審議案件を４９の理事長の皆様にエリア会議等々でご意見をいただきながら、なんとか審議をいただいたという会員会議所であります。２０１４年度からエリアの在り方も少し変わってくると思います。本当にそんな事も含めて、公益性を担保するべく開始した北海道ＪＣフォーラムも含めて、何とかこの北海道地区協議会のあるべき姿といいますか、その方向性を多少なりとも指し示したのではないかと考えております。こういった事も本当に、私もここから感謝にはなるのですが、昨年本当にキャビネットをやっていただいた大越理事、荒木理事が本年室長として本当に支えていただいた。そのサポートがあり、私も本当に思い切って出来たという事もあります。二人には感謝したいと思います。ありがとうございました。また、日本青年会議所の方は先週末に無事に理事会を終了させていただいて、今まで付けていた役員バッチの方を井川会頭の方に返還をして参りました。こちらの方も本日遅れております池崎委員長を始め、本当に多くの日本青年会議所出向者の皆様の活躍を目にしながら自分も奮起してやってきた一年でありました。その日本青年会議所出向者の皆様にも感謝を申し上げたいと思います。そしてやはり、我々出向者はどこまで行ってもＬＯＭがしっかりしていないと中々思い切って外で運動出来ないという事でもあります。本年本当に先ほど言われたので返す訳ではありませんが、心から、本当に力強い素晴らしいリーダーシップを発揮された林理事長の下、ＬＯＭのメンバーがしっかりと運営をしていただいたお陰で、思いきって運動出来たと思っております。ましてや、本年国際アカデミーという本当に非常に大きな事業があった中で、素晴らしいリーダーシップを発揮された林理事長とそしてＬＯＭメンバーに最後感謝を申し上げたいと思います。本当に一年間ありがとうございました。いよいよ最後の挨拶という事になりますが、昨年理事長させていただいてからこの二年間、色々な話を皆様にさせていただきました。ただ改めてふと自分なりに考

えますと、言ってきた事は同じ事でした。何を言ってきたかと言いますと、やはり、このＪＣという組織は運動体でありたいと思います。我々仲良し子好しの団体ではなければ、酒だけ飲んでいる団体ではありません。やはり何度も言っておりますが、この社会に問題があって、その社会をどうにか良くしようという事で意識変革運動するべく、運動があって、その為に我々の組織があるという事であります。青臭くてもいいと思っております。天下国家語っていいと思えます。しかし、地域できちんとした一歩を刻んでいく、周りの一人でも二人でもいいから意識を変えていく、そんな青臭くても地味でも、そんな運動を前進する運動を今後も展開していただきたいと思えます。昨年理事長の時に所信の中で、「ＪＡＹＣＥＥよ！志高く、青くあれ！」とうたいました。私は本当に青臭くていいと思えます。青年ですから。まだまだ理想郷を語っても許される。しかし逆にいうと我々青年が理想を語らなくなったら、日本は終わってしまうと思えます。やはり来年以降も我々青年会議所は青臭くても、侃々諤々喧嘩しながらでも天下国家を語って、どうやったらこの地域が良くなるのか、そのために一歩でも二歩でも行動する中で、周りの人達をどんどん意識を変えていく、そんな素敵な組織であり続ける事とご期待を申し上げまして、又一年間のお礼と致しまして挨拶とさせていただきます。まだまだ本理事会は終わっておりませんので、最後まで皆様の忌憚ないご協議をいただきながら、最後の理事会しっかりとやってまいりましょう。本日もよろしくお願い致します。ありがとうございました。

10. 審議事項

(1) 2012年度(社)札幌青年会議所 十一月「新入会員歓迎」例会開催報告(案)の件 村太室長

事業要綱1. から3. まで記載の通りです。事業概要4. 5. 記載の通りです。6. 【参加対象者及び人数】140名、出席率 70.1%、仮入会者25名の参加をいただいております。7. 【決算・予算総額】予算総額 ￥1,375,000-に対して決算総額 ￥827,320-とさせていただきます。この予算と決算の総額の違いは当初仮入会予定者60名を予定しておりましたので、その人数の違いで、予算との差が出ております。8. 9. 記載の通りです。10. 【事業実施内容】入会承認証授与、ＪＣバッジ授与のセレモニーを行い、懇親会では、同好会紹介、新入会員予定者人生の夢発表 新入会員予定者映像放映をさせていただきました。11. 【開催目的の実現と成果】新入会員予定者リハーサルを入念に行った事によって厳肅な雰囲気を作り、青年会議所のメンバーとなる責任と自覚を持っていただきました。また、ＪＣバッジを役員の方から授与していただく事により、青年会議所の一員となる意識の向上を図っていただきました。新入会員予定者プロフィールを配布する事により、新入会員予定者と現役メンバーが交流を深める事が出来ました。新入会員予定者に「人生の夢」発表をしていただく事により、新入会員予定者の個性を知っていただく事、そして、新入会員予定者にはＪＣ運動への意欲を高めていただきました。12. 【運営上の問題点】遅刻してしまう新入会員予定者がおり、リハーサルを行わないまま本番を迎える事となりました。会員募集活動を例会開催日直前まで行っていた為、新入会員予定者プロフィールに一部不備がありました。新入会員予定者のスーツにバッジホルダーが空いておらず、バッジ授与式で手間取りました。13. 【次年度への引継ぎ事項】は記載の通りです。参考資料として事業の様子を添付しております。

【決算確認】

海野常務理事

勘定科目、金額ともに適正に処理されております。

【意見・対応】

熱田理事

とてもコンパクトに纏まった事業であったと思います。ただ残念なのが、全体的に出席率が低いように感じられます。11月の時期というのは、次年度も含めて気合が入るタイミングであります。新入会員を迎えるに当たって70%の出席というのは、50名位欠席という事で、新入会員を暖かく迎えると記載している割には少ないのではないのでしょうか。来年以降、バジホールより出席率に重点を置いて資料として記載して出席率に意識を高める様に、来年以降の会員拡大の委員長に繋いでほしいと思います。

田邊理事

会場で配布されるプロフィールの中身が無かったという事がありまして、どの様な人なのか、分からない部分がありましたので、何の為のプロフィールなのか新入会員に説明して、作成してほしいと思います。次年度の担当委員長は是非とも宜しくお願いいたします。

【採決】

全会一致で可決承認

(2) 2012年度(社)札幌青年会議所 世界会議台北大会ブース出展補正予算(案)の件

村太室長

当初予算として¥500,000-計上いたしておりましたが¥418,471-に変更させていただいております。この減額の要因は、現地調達する食材の予算を見誤っていた事で、実質予算より安価でした。当初現地での調理器具の調達を予定しておりましたが、設営メンバーの不足等も考えられましたので、札幌で調理器具を調達し、現地に送ったために、17,600円の増額となっております。会場を設営するにあたり、机の追加が必要になった為に長机レンタル代が3,000円の増額となりました。

【予算確認】

海野常務理事

勘定科目、金額ともに適正に処理されております。

【意見・対応】

田邊理事

補正予算額の記載のミスがありますので、修正をお願いいたします。

村太室長

13.【事業内容】(1)で17,600円となっておりますが、23,600円に修正いたします。

【採決】

全会一致で可決承認

(3) 2012年度(社)札幌青年会議所 世界会議台北大会ブース出展報告(案)の件

村太室長

事業要綱1. から3. まで記載の通りです。事業概要4. 5. 記載の通りです。6. 【参加対象者及び人数】正会員51名、シニアクラブ会員10名です。7. 8. 9. 記載の通りです。10. 【事業実施内容】ブース内を「第25回国際アカデミーin札幌」開催時の模様をポスターや写真で装飾し、来場者にジンギスカンを提供すると共に、希望者には「第25回国際アカデミーin札幌」に関連するロゴのフェイスペイントを行いました。(2)開催当日のスケジュール

は記載の通りです。11.【開催目的の実現と成果】一般来場者も含む、多くの青年会議所メンバーに、札幌の食文化であるジンギスカンを提供し、札幌の食文化を広く発信する事が出来ました。(2)「第25回国際アカデミー in 札幌」開催時の写真やポスターを掲示した事で、多くの来場者の目を引き寄せ「第25回国際アカデミー in 札幌」で育んだ世界との友情を広く伝えて、ブースへの関心を高める事が出来ました。(3) 国際アカデミーユニオン会場にも開催当時の写真を展示した事で、「第25回国際アカデミー in 札幌」に参加したデリゲイツに、国際都市「SAPPORO」を広く発信出来ました。12.【運営上の問題点】(1) 使用する調理器具や食材分量が明確ではなかった為、急遽現地で調達する事になりました。(2) 多くの食材を用意した結果、ブース提供の終了間際まで食材が残ってしまい、余裕をもった設営を行う事が出来ませんでした。13.【次年度への引継ぎ事項】12. で問題となった事を引き継ぎ事項に記載しております。参考資料といたしまして事業の様子を添付しております。

【決算確認】

海野常務理事

勘定科目、金額ともに適正に処理されております。

【意見・対応】

なし

【採決】

全会一致で可決承認

(4) 2012年度(社)札幌青年会議所 十一月「臨時総会」開催報告(案)の件

海野常務理事

初めに参考資料の議事録についてですが、議題の番号順に記載しておりましたが、時系列に沿った形での記載に変更させていただきました。事業要綱、事業概要、1. から5. まで記載の通りです。6.【参加対象者及び人数】は11月の理事会に於いて退会者が3名おりますので、正会員164名から161名に変更させていただきます。議決権総数、129名、内出席者87名、こちらの出席率も正会員数の変更に伴いまして、54%に修正させていただきます。委任状数42名、7. から10. まで記載の通りとなっております。11.【開催目的の実現と成果】2013年度社団法人札幌青年会議所の方向性を決める議案や、一般社団法人格取得についてご承認いただく事で、メンバーの意思統一を図る事が出来ました。12.【運営上の問題点】(1) 採決の際に人数確認に時間を要し、メンバーの皆様を待たせる事を記載いたしました。(2) メールマガジンの配信や委員会まわりを行うと共に、各委員会の協力を仰ぎながら事前に取りまとめを行っていましたが、例年に比べ出席率を下げる結果となってしまいました。その対応といたしまして、13.【次年度への引継ぎ事項】に記載いたしました。14. から16. まで記載の通りとなっております。

【決算確認】

海野常務理事

勘定科目、金額ともに適正に処理されております。

【意見・対応】

熱田理事

出席に対して委員会はどのような努力をしたのでしょうか。

海野常務理事

メールマガジン及び、委員会回りを行ってまいりました。

熱田理事

委任状も出していない様な無関心なメンバーが40名以上いる事になりますので、来年以降何らかの対処を考えてほしいと思います。議事録の内容のお祝いの部分で、子供の名前が全て、ひらがなになっております。議事録は新入会員が作成していると思いますが、副委員長の精査が全くされていないように思いますし、議事録の署名もされています。新入会員任せでなくきちんと総務委員会で精査をして出してほしいと思います。総会とアワードバンケットの日程を同日にする必要が無いのではないかと、質問させていただきました。総会から意見が出ない様に徹底的な議論をして、三役会、常任理事会、理事会に出して、総会に諮っていくのですが、今回は、質問が、出てしまいました。当初1時間位しか見ていなかった時間が、超過を掛けている事になりました。しかも総会とアワードバンケットの出席人数が40人も違います。そして、全くの無関心なメンバーがいますので、そのあたりは特にしっかりと、引き継いでほしいと思います。

海野常務理事

貴重なご意見として、今回担当いたしました、委員長も次年度は常務理事ですので、必ず引き継いで参ります。

林理事長

今、熱田理事からご意見を賜りました、議事録の件につきましては、再度精査をした上で、保存していただきたいと思います。3番目にいただいたご意見は最もな事だと思います。我々の最高議決機関である総会でそういった現象が起こった事につきましては、ラインで反省する事だけではなく、しっかりと、2013年度体制の基に私からも、引き継ぎをさせていただいた上で、根幹に関わる問題だと思いますので、引き継ぎをお願いしたいと思います。

【採決】

全会一致で可決承認

(5) 2012年度(社)札幌青年会議所 十一月「アワードバンケット」例会開催報告(案)の件 海野常務理事

事業要綱1. から3. 事業概要4. 5. まで記載の通りとなっております。6. 【参加対象者及び人数】ですが、161名に修正させていただきます。それに伴い出席率が76.3%に変更させていただきます。7. 【決算・予算総額】予算総額 ￥1,560,000ーに対しまして、決算総額 ￥1,144,000ーこれは、メンバーの登録数の減少によるものです。8. から10. まで記載の通りです。11. 【開催目的の実現と成果】(1) サッポロファクトリーホールで開催した事で、演出の幅が広がり華やかで感動的な受賞式の中、本年度の運動に対する活躍を褒賞する事が出来た事を記載いたしました。(2) 次年度以降も引き継がれていくトロフィーを作成した事を(3) 本年度の運動を振り返るエンディング映像を投影した事で、メンバーの皆様に感動していただくと共に、今後の運動への気概と自信を養う事が出来た事を記載いたしました。12. 【運営上の問題点】(1) 臨時総会の会場からアワードバンケット会場へのメンバーの移動をスムーズに誘導する事が出来なかった事を記載いたしました。(2) ドレスコードについてメンバーの皆様に徹底する事が出来なかった事を記載いたしました。13. 【次年度への引継ぎ事項】にそれぞれの対応を記載いたしました。14. から16. まで記載の通りです。

【決算確認】

海野常務理事

勘定科目、金額ともに適正に処理されております。

【意見・対応】

熱田理事

色々なサプライズもあり良いアワードバンケットだと思いました。出席者の中で新入会員予定者3名は正式に案内を出したのでしょうか。

海野常務理事

案内状を出して来ていただきました。

熱田理事

新入会員予定者の人数からして3名は少ないと思います。仮入会者研修からアワードバンケットそして、室合同と繋がるといいますので来年以降も声掛けを進めていくというのであれば、もう少し早い段階から案内をしてあげていただきたいと思います。それと、先程の話にもなりますが、総会の日程とアワードバンケットの日程等をしっかりと小野木委員長に引き継いで上げてください。

林理事長

意見と言う事で、次年度以降に引き継いでいただきたいと思います。

大越理事

参考資料の各賞受賞者ですが、船越委員の名前が間違っていますので、訂正をお願いいたします。1年・2年連続は総会・例会・特別事業100%出席となっていますが、3年連続は例会100%出席と記載されておりますが、どの様な意味合いで記載されているのでしょうか。

海野常務理事

記載ミスになります。1年目・2年目と同様に、総会・例会・特別事業100%出席に変更させていただきます。

大越理事

褒賞要綱がもともと例会100%出席だったのが、総会・例会・特別事業100%出席に変わっている時がありまして、3年連続総会・例会・特別事業であるべきではないかと思っておりますので、確認を宜しくをお願いいたします。

海野常務理事

申し訳ございません。確認させていただきまして、修正させていただきます。

小田切理事

新入会員予定者が3名と言うのは、目的が分からないので、総会の閉会が遅れたので、新入会員予定者が待っている状態でした。もう少し気配りをし、何の為に集まっているのか、目的意識をしっかりと持って、取り組んでいただきたいと思います。もう一点、決算書に各賞記念品とありますが、内訳を教えてくださいたいと思います。あと、参考資料に各賞記念品の盾やトロフィー100%出席の記念品の画像を添付していただきたいと思います。

海野常務理事

各賞記念品に付きましては、写真を添付させていただきます。また、決算書の各賞記念品内訳ですが、すべて合算した金額になっておりまして、個別単価の提示は難しくなっておりますので、各賞記念品と言う形での記載でご了承願いたいと思います。

小田切理事

今回出ないのであれば仕方ありませんが、次年度以降、明細もしっかり出る様に予算取り・

決算を行っていただきたいと思います。

海野常務理事

次年度以降しっかりと引き継いで行きたいと思います。

林理事長

只今いただきましたご意見が非常に多岐に亘る物だと思しますので、しっかりと精査をしていただいて、第13回理事会で改めて上程をいただきたいと思います。佐藤専務理事いかがでしょうか。

佐藤専務理事

理事からご意見いただいた事をしっかりと網羅した物を第13回理事会にて再度ご審議いただきたいと思います。

荒木理事

【運営上の問題点】(2) ドレスコードについてメンバーの皆様に徹底する事が出来ませんでした。と記載がありますが、何故出来なかったのかを明記しなければ、次年度へも引き継ぎが出来ないと思いますので、しっかりと明記していただきたいと思います。

田邊理事

最優秀新人賞・最優秀会員賞受賞の方には盾が優秀賞と最優秀賞二つ渡っていると思いますので、引き継ぎ事項とし考慮していただければと思います。

林理事長

意見として反映していただければと思います。

(6) 2012 (社) 札幌青年会議所 ホームページの運営・管理報告(案) の件

海野常務理事

事業要綱1. から6. まで記載の通りとなっております。7. 【決算・予算総額】決算総額¥944,500となりました。8. から12. まで記載の通りです。13. 【開催目的の実現と成果】(1) トップページからアクセスし易くする事で、情報発信する事が出来た旨を記載させていただきました。(2)(3) につきましては、公式ブログ並びにメールマガジンを発信した旨を記載させていただきました。(4) 「第25回国際アカデミーin札幌」専用ページを作成した旨を記載させていただきました。(5) 国際アカデミーin札幌ページで英語のページを掲載した旨を記載させていただきました。(6)(7) につきましては、記載の通りとなっております。14. 【運営上の問題点】(1)(2) トップページのバナーが多くなり、見にくくなった点と、バナー掲載の早急な対応が出来なかった旨を記載させていただきました。(3) 対内向けのブログを活用していただけなかった旨を記載させていただきました。(4) メールマガジンの配信は、定期的に発信できず当初の計画数を配信する事が出来なかった旨を記載させていただきました。(5) ホームページに於ける会員拡大の問題点を記載させていただきました。(6) 国際アカデミーの情報量が多くなり、サーバー容量の拡張が必要となった旨を記載させていただきました。(7) 公式ブログでは、多くの出向者が活躍して参りましたが、動向を紹介する内容が不足してしまった旨を記載させていただきました。合わせて、15. 【次年度への引継ぎ事項】に記載させていただいております。16. 17. 記載の通りとなっております。18. 【追記事項】(1) 本年度の反省を鑑みて、次年度の改善ポイントを参考資料として付けている旨を記載させていただいております。(2) に於きましては、事業開催告知並びに事業開催報告の情報に関しまして、札幌J

C発信委員会が分析を全て担って参りましたが、責務を果たす意味を踏まえ、事業を担当する委員会が文責を果たす事が出来る校正の流れを広報担当委員会と構築していく事が望まれる旨を記載させていただいております。慎重なるご審議何卒宜しくお願いいたします。

【決算確認】

海野常務理事

勘定科目、金額ともに適正に処理されております。

【意見・対応】

熱田理事

国際アカデミーが開催された中で、今年のアクセス数が昨年より下がっているのですが、見解をお聞かせ下さい。

海野常務理事

トップページに入った方をカウントしておりまして、国際アカデミーの専用ページを作っておりますので、そちらのページへ直接入られて方はこちらのアクセス数にカウントされておられませんので、直接国際アカデミーのページを閲覧された方が多くいたのではと考えております。

熱田理事

外部の方のアクセス数は非常に増えたのではないかと思います、メンバーがホームページを見ていないのではないかと思います。委員会の垣根を越えて情報交換するなど、色々な形で出席率を高めていっていただきたいと思います。ホームページは広告のツールであります、コミュニケーションのツールでもあるので、次年度、広報される方に引継いでいただければと思います。

田邊理事

アクセス数のグラフの作り方ですが、次年度以降は0からの表記でお願いしたいと思います。

林理事長

今回の参考資料については修正していただきたいと思います。

伊澤理事

HOT・MAILの一覧が年当初からありましたが、こちらが番号管理になっております。タイトルも入れていただければ使いやすくなると思いますので、来年度から変えていただければと思います。また、HOT・MAILのタイトルが長すぎると思います。取捨選択する知恵をつけていただきたいと思います。

荒木理事

本年度のホームページでは、中身の部分で精査が足りなかったのではないかと思います。出向者の名前間違い等多々ありますので、次年度以降しっかり引継いでいただきたいと思います。また、来年以降メンバーを集める為に広報のツールを認知していただく為にどの様にしたらいいのか委員会として考えているのでしょうか。

海野常務理事

今後の広報戦略に関しましては、来月、報告を上げさせていただきますので、その中でしっかりと記載させていただき、次年度へ引継いでいきたいと考えております。

林理事長

いただいたご意見はしっかりと反映していただきたいと思います。広報については本年度だけではなく、永年我々の課題になるかと思うので、しっかりとお願いしたいと思います。

【採決】

全会一致で可決承認

(7) 2012年度(社)札幌青年会議所 退会者(案)の件

佐藤専務理事

非常に残念ではございますが、記載があります2名の会員につきまして、総会后、退会届が事務局に届いております。ご報告させていただきます。

12. 報告事項

(1) 2012年度(社)札幌青年会議所 姉妹JCとの交流報告について

村太常任理事

1. 【報告事項】(4) 事業開催日時2012年10月25日(木)～27(土)に開催されました。(8) 姉妹会議の内容①40周年記念式典についてですが、記念式典開催及びレセプションの企画・設営を札幌青年会議所で企画・運営し、来年札幌にて開催します。レセプションは、現役及び特別会員でそれぞれに開催する事とし、記念式典は合同で行う事とします。東大邱歴代会長を含め10名程度、現役メンバーで5～6名程度の参加が見込まれます。②未来に向けての交流についてですが、ケソン小学校と山の手南小学校の交流のサポートをする事を確認し合っています。3. 【次年度への引継ぎ事項】は記載の通りですが、参考資料としまして札幌青年会議所からの参加者リスト、東大邱青年会議所からの参加者リスト、東大邱交流会議議事録を添付しております。

【意見・対応】

荒木理事

ご出席をされた皆様方、本当にお疲れ様でした。姉妹JC会議がしっかり開催されたという事は、昨年、一昨年の状況を踏まえすと、非常に嬉しく思います。40周年に向けて、もう一回トンテグに行って再度内容の打ち合わせが必要ではと思います。又、札幌JCでも歴代OB含め多くの方が関わって来ましたので、次年度もしっかり引き継いでいただきたいと思います。40周年の開催をする事が出来る報告を受け大変嬉しく思います。

(2) 2012年度(社)札幌青年会議所 広報マニュアル報告について

海野常務理事

1. 【報告事項】取り組み内容(1) メンバー一人ひとりが円滑且つ主体的な広報活動を行えるよう、次年度へ引き継ぐ事が出来る広報マニュアルを作成しました。(2) 社団法人札幌青年会議所ホームページメンバーページ内にマスコミ・協働先の各種連絡先リストを掲載する事で私たちの事業や取り組みに対し関連をもつ諸団体との交渉を円滑に行う事へ繋げました。2. 【特記事項】にマニュアルの内容を記載しております。3. 【次年度への引継ぎ事項】1) 広報マニュアルを活用する事により、講師などとのトラブルを未然に防ぐ事が重要である旨を記載しました。(2) アンケートの様式を統一する必要がある旨を記載しました。

【意見・対応】

熱田理事

マスコミ関係ですが、朝日新聞社以外の三紙は国際アカデミーで取材に付けてくれました。その窓口の記者の引継ぎもきちんとしていただきたいと思います。毎日新聞の事だけでお話をしますと、北嶋理事長、林理事長もご挨拶に行った経緯があり非常に風通しが良かった様に感じまし

た。マスコミ関連の窓口になった担当者を次年度以降も引き継いでいけばもっと良くなると思います。市民の皆様幅広く発信する為に、来年以降の広報委員長、まちづくり系の方々にも使える様な資料にして渡して下さい。

15. その他

(1) 今後のスケジュール

海野常務理事

第13回理事会ですが、来年1月24日（木）16時30分より、2013年度第1回理事会の前に札幌パークホテルにて開催されます。

16. 監事講評

小澤監事

皆様こんばんは。第12回理事会大変お疲れ様でした。第13回理事会もありますが、セレモニ一的なもので、議論をするという意味で一年間を総括するのは、本日なのかと思います。前々回の総会で、私は挨拶についてお話をしました。総会終了後、多くのメンバーが私の所へ挨拶に来ました。当たり前の事を当たり前にするのは、誇るべき事かと思います。本日、理事会終了後には打ち上げがあります。本来は理事者に対してお礼を言う場でした、しかし、最近は理事長に対して有難うという想いを伝える場ではと思っています。この事は4年前からずっと伝えていきます。理事長に対して想いを伝える場にしたいと言ってきました。更に卒業予定者、理事の皆様にもお礼を伝える場にしたいと思います。一月の総会の時に、理事長が直前理事長に特別記念品と特別感謝状を渡していました。昔はセクレタリーが撮った写真をアルバムにし、VTRを作ってお礼を伝えています。本当に今日しか理事長に感謝を述べる事が出来ません。理事長に対して本当にお疲れ様でしたとお伝え下さい。今年の全ての事業において、理事長の素晴らしいリーダーシップによって、今日に至っています。その事を思い出しながら、理事長にお礼を述べていただきたいと思います。少々話がずれましたが、以上を持って監事講評といたします。

田中監事

皆様お疲れ様でした。先ずは一年間、メンバー誰一人欠ける事なく、最後まで全メンバーが一年の活動を通して残る事が出来た事を心から良かったと思います。又池崎委員長を始め、北嶋直前理事長もそうですが、出向者の皆様、訳ありという重たい荷物を背負って大変な一年を送られたと思いますが、出向者の方々も誰一人欠ける事無く、一年を全うしていただいたという事は、札幌青年会議所にとっても、非常に大きな事だと思っています。同様に林理事長、佐藤専務理事、竹原実行委員長含め三役常任の皆様も例年以上に出向者支援が大変だったと思います。世界会議以来、10年に一度位の大変さだと思います。日本や地区のメンバーと同じ日程で、現地に行ってもする事がほとんどありません。ただ出向者を輩出しているLOMとして、姿勢を見せ続けたという事は、本当に大変な事だと思っています。一年間お疲れ様でした。今年一年を総括させていただきますが、先程意見が出ていましたが、各種事業の出向者の低下が気になっています。様々な問題があったと思いますが、国際アカデミーという大きな事業があったという事もありますし、それに伴い日程変更が度重なったという事も一つ大きな要因だったと思います。メンバーの参加人数が少ない事業をしているという事は、対外に対しても発信力のない事だと思っていますので、是非次年度以降より多くの方が参加出来る体制と日程変更のないスケジュールを組んで、メンバーがより多くの参加出来る事業をしていただきたいと思います。又、何度も言いましたが、報告議案が上がって来る度に、準備不足、打合せ不足という議案が多かった様に見受けられます。

理事会で様々な意見が出ていたにも関わらず、そのまま押し切って事業を開催していた事が、多くあったのではと思っています。貴重な意見を参考にして少しでも良くしようと思って事業に取り組まなければ良い結果は得られませんし、失敗の仕方が違います。北嶋会長が、青年らしく、青くあれとおっしゃってまいいた。こういう切り口で問題に取り組んでみたけれど、結果として失敗だったというのは、大いに結構だと思います。しかし、準備不足、打合せ不足で次年度に引継ぐのでは、荒木理事がおっしゃる様に全く意味がありません。何故そうなったのかが一つも反映されない事業なら、する意味がありません。しっかりと次年度以降に引継いでいただきたいと思います。又、理事会構成メンバーである理事者の皆様も欠席が多かった様に思います。各種事業においても理事の皆様がいない事が多々見受けられました。理事会構成メンバーとして、理事として意見を述べる以上、全ての事業に参加する意識を持って望んでいただく事が非常に大事だと思います。次年度以降、理事者をする方は、しっかりと意見を述べる以上、全ての事業に参加する心意気を持って取り組んでいただきたいと思います。卒業予定者になると、こうした方がいい、ああした方がいいという事が沢山浮かんできます。熱田理事もそんな想いから沢山意見を述べてもらったと思いますので、是非LOMの為に今まで以上より良くなる事があれば、ラインや役職関係なく、理事会終了後であっても、少しでも次年度以降の為に残していただきたいと思います。皆様と共に進んだ歩みを戻すことなく、今年度積み上げたその先に次年度が進んで行っていただける事を心から期待しております。最後になりますが、北海道や札幌の人口減少が思ったより早く進んでいます。日本青年会議所においても、例年会員数4万人と謳っていますが、今年度は3万5千人を超える事がなかったと聞いております。実質3万2,3千人の会員数が当たり前になってきております。数年内に3万人を切るのではとも聞いております。同様に北海道の人口を減っていく以上、札幌のメンバーも減少していく可能性が非常に高いですし、各LOMにおいても活動が低下していく事が予想されます。札幌青年会議所はリーディングLOMという立場を保ちながら、是非力強く運動を発信していただきたいと思います。時代に合わせて変えていく事が組織にとって大事な事だと思います。伝統や培ってきたものも大事です。でもそれ以上に変えていくという事を大事に考えていただきたいと思います。時間だけは戻す事は出来ません。皆様、後悔のないJCライフを送っていただき、JCに入って心から良かったと思って卒業出来る事を期待して最後の監事講評とさせていただきます。

17. 次回理事会開催日の確認

海野常務理事

1月24日(木) 16:30より札幌パークホテルにて開催予定

18. 閉会

佐藤専務理事

以上をもちまして、2012年度社団法人札幌青年会議所第12回理事会を閉会いたします。

議事録署名人 大越 誠之

議事録署名人 渡部 裕史
